「平和と人権」市民ネットワーク情報　N020-10
事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　2020.10/15

40 年ぶりの再会－「すう」学習会－

◆9 月 21 日、健康福祉センターで第二回学習懇談会を開きました。テーマは「『すう』の活動を知ろう」。報告者の高野さんを応援するため(？)、スタッフの方、利用者の方が勢揃いし、賑やかな会となりました。高野さんの話と質疑の内容については、添付の記録をご覧ください。ここでは、利用者さんの思い・希望と、加藤好一先生と 40 年前の教え子恵美ちゃんとの劇的な出会いの場面を紹介します。

小鹿野

話を聞かせていただいて、支援するスタッフさんがすごい熱意があって、皆さんの仕事をわかろうとしているし、SOS を出してほしいとか、あと、障がい者としてみてもらいたくないとか、一人の人間としてみてもらいたいとか、そういう理念が素晴らしいと思いました。……利用者の皆さんは、どれくらい就労意欲があるのかな。あと、どういうことに困っているのか。皆さん、何に困っていて何につらいのか。同じ障害者としてどんなことに困っているのか聞けたら、自分にとっても励みになるので教えていただけないかな、と思いました。

司会

井上さん、ちょっと聞いていただけますか。どういうことで困っているか、あるいは楽しいことも。

井上

まず一人一人お仕事をしたいという気持ちがどれくらいあるのか、聞いてみます。もし困っていることがあればそれも。

井上…浩美さん、お仕事をしてみたいという気持ちはありますか。

浩美…まだそこまで考えていない。

井上…では、普段お仕事をして困る事とかある？

浩美…お金の計算ができない。

井上…時間が少しだけかかるけど。そんなには違わないね。

井上…えみさん、働きたいという気持ちはある？

えみ…少しはある。

井上…今困る事とか。

えみ…今はないです。

井上…お話しするのがね、できるんだけど沢山はね。

井上…アキさんはお仕事がしたいですか。

アキ…はい。火曜日と水曜日、「すうカフェ」さんでお仕事がしたいです。

井上…どんなお仕事がしたいですか。

アキ…食器洗い。

井上…お客さんとは話すのは好きですか。

アキ…はい。

井上…抹茶アイスとか、バニラアイスとか難しいよね。今勉強中ですか。

アキ…はい。

井上…みゆきさんは将来お仕事をしたいですか。

みゆき……どっちでもいい。

井上…今、お仕事楽しいですか。
みゆき…普通。立っているのが大変。
井上…やりたいお仕事とかは？昔アイドルをやりたいって。
みゆき…今はアイドルじゃない。私、絵が好きだから。
井上…すうのお弁当のお箸に一杯絵を描く。
井上…ありささん、やりたいお仕事ありますか。いろんなお仕事を見てみたいと思いますよね。
ありさ…洗いものをすること。
井上…ふくのがとても上手。困ったとき、相談できますか。地域の人とか、レジのお姉さんとか。
ありさ…はい。
井上…泰雅さんは将来お仕事をやりたいですか。
泰雅…わからない。
井上…自分はこっちの方が向いているな、とか。
泰雅…組み立てが良いかな、工業系。手先が器用だと言われる。
井上…最初は接客がしたいといっていたけど、お仕事をしているうちにハサミで切る職人みたいな仕事が得意だと気が付いた。
泰雅…はい。接客業より手作業の方が得意なので。
井上…仕事をしていて困ることってありますか。
泰雅…店の中を通っていく人がいるので、それがちょっと。通路みたいに。
井上…自分の生活はどう。自分一人では起きたり寝たりが…。
泰雅…ちょっとそれがね。(笑)

司会

ありがとうございました。

加藤

池田恵美さんだよね。小学校 4 年の時に第一小で担任した加藤先生をおぼえている？(はい) 私です。頑張ったね。一杯覚えているよ。跳び箱で前転ができるようになったり。京未さん達と鉄棒の前回りができるようになったり。頑張ったね。覚えているよ。(はい) 怖い先生だったでしょう。(はい) (爆笑) 楽しかったね。最後マラソン大会で頑張ったね。(はい) 最後 0 さんを抜かしてね、びりから上がったんだよね。直線コースで。

加藤

私は彼女に先生にしてもらったと思っているんですよ。彼女は階段をこういう風に降りていくんですね。互い違いに降りられないで。それまで私は人というものは階段を降りられるものだと思っていたし、こうやればみんな拭き掃除ができるものだと思っていたんです。そうではないということを彼女に教えてもらって、クラスみんなで彼女を真ん中にしながら、成長しあっていきましたね。それで私は教師にしてもらったんだと思っています。一番最後にマラソン大会があったんですけれど、いつも 3 年生までびりだったんですが、彼女が最後にトラックで O さんという女の子を抜かすんですね。そのときクラス中がお祭り騒ぎになって…そんなことを未だに覚えているんです。元気そうでよかったね。

アンケート　ご協力ありがとうございました

◆安倍首相の退陣を受けて、「市民ネットワーク」と「市民民アクション」の今後をどうするか、賛同者・会員にアンケートをお願いしました。47 人の方から回答をいただきました。貴重な時間を割いて面倒なアンケートに答えていただき、ありがとうございました。回答結果を報告します。

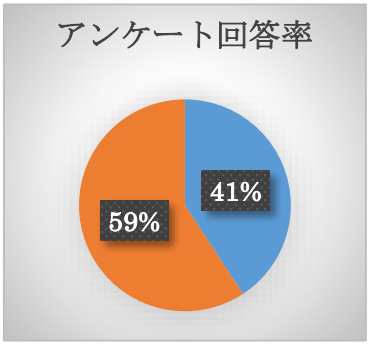
(1)アンケート回答率

①全体の回答率

9 月 10 日に「市民アクション」会員と「市民ネットワーク」賛同者を合わせて、130 人の方にアンケートを送った。

9 月 27 日現在での回答数は個人で 53 人、アクション加盟団体 2、の合計 55 通だった。

個人の回答率は 53/130=41%となる。4 割強の回答率だった。



②「アクション」会員と「ネットワーク」賛同者の回答率

・アクション会員 95 人のうち、43 人から回答があった。(団体を除く)
　回答率は 45%

・ネットワーク賛同者 99 人のうち、40 人から回答があった。
　回答率は 40%

※ネット賛同者の回答が若干少ない。長年月(4 年 9 ヵ月)の間に、名前だけの賛同者になっている人が、アクションに比べて多い、ということか。

(2)「市民アクション」に関する質問の回答(43 人)（二つの団体を含む)

Q1　年内を目途に「市民アクション」を解散するかどうか

(A 案)　解散する　→　0/43 人　(0%)

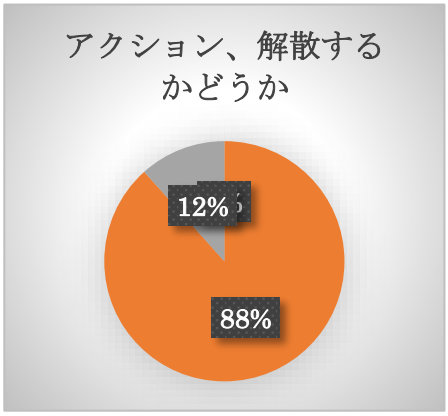
(B 案) 継続性を持った新組織に移行する　→　38 人　(88%)

〈その他〉　　→　5 人　(12%)

・しばらく様子を見る　…　1 人

・しばらく休眠する。　…　1 人

・ネットワークに一本化する …　3 人



※継続する意見のほとんどは、改憲の危険性は変わらないから、という理由を挙げる。

Q2　継続したい活動　(複数回答可)

回答者 36 人(団体を含む)のうち、

①改憲反対の署名行動、ポスティング行動　　→　21/36 人　(58%)

②毎月の 19 日行動　→　25 人　(69%)
③毎月の 9 の日行動　→　17　(47%)
④映画会や講演会　→　29　(81%)
⑤5/3 の憲法集会、パレード　→　26　(72%)
⑥ミニ学習会　→　25　(69%)

※ ①～⑥の全部、と答えた人が 14 人いた。永島香さんのいう「できる範囲で、出来るだけ継続」というのが回答者の意向と読める。その中で、あえて順位をつけるなら、「映画会や講演会」を望む人が多く、「9 の日行動」がやや少ない、と言える。

※ 個別的には、浦島さんから「19 日行動」の場所を変えるべきだという意見が寄せられた。

Q3　「市民アクション」の活動について、要望・意見

以下、いくつかの指摘を紹介したい。

〈F.N さん〉

①から⑥まで誠実に積極的な活動があったと思います。しかし、常に少人数、同じ人の活動だった(特に①（ポスティング)、③(9 の日行動))ため、問題含みと思います。もう少し輪を広げていくためにどうしたらよいか、何をすればよいか、考えております。

〈K.Y さん〉

近年の伊東での護憲運動の中核をになった。これまでの伊東の市民運動に比べ「継続性」という点で他にない特色を持つ。

〈Y.K さん〉

地道な皆さんの活動に敬意を感じています。若い世代を巻き込めるとさらに良いですね。

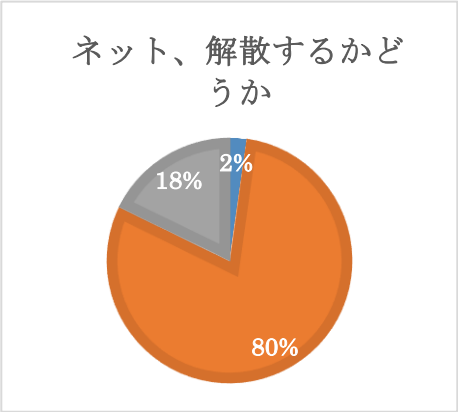
〈K.F さん〉

スタンデイングはどれだけ皆さんに届いているか不明。往復 1 時間、活動 30 分、時間がもったいない。団体ごと地域を担当するポスティングは参加される方が多くなるし、やりやすい。

(3)「市民,ネットワーク」に関する質問の回答

Q1 安倍退陣を機に「市民ネットワーク」を解散するかどうか。回答者 45 人

A　解散する　→　1 人　(2.2%)
B　存続する　→　36 人　(80%)
C　どちらともいえない　→　8 人　(18%)



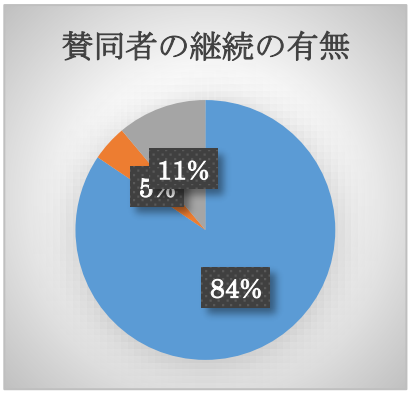
※「どちらともいえない」と答えた人が 2 割いた。真意はわからないが、そのあとの質問の回答と重ねると、
〔賛同者を継続する　→　3/7 、 わからない→　5/7〕
これを見ると、「どちらとも言えない」=必要性に疑問、ということでもなさそうだ。

※地域サークルの連合体に改組する、という意見が一人あった。

Q2　存続する場合、賛同者を継続するかどうか。回答者 45 人。

A 継続する　→　38/45 人　(84%)
B 継続しない　→　2 人　(4%)
C わからない　→　5 人　(11%)

※継続すると答えた人が圧倒的に多いが、回答しなかった人の意向がどうなのか、気になるところ。



Q3　「ネットワーク情報」について感想、意見・要望

ｉ）　全体としては好意的な評価が多い。

〈I.A さん〉

政治的なことだけでなく、福祉への優しいまなざしなどを感じ、幅が広がっていると感じました。

〈O.N さん〉

インターネットなどにアクセスできず、テレビや政府広報化した新聞報道でしか情報収集できない人々と情報共有するための貴重な活動だと思います。

〈K.Y さん〉

自身が参加できなかった場合に、情報を見ることによって内容が理解できて良い。

ⅱ）改善の要望もある。

〈H.Y さん〉

この情報紙が更に広く読まれるには、簡潔さが一つのキーワードにならないでしょうか。

〈K.Y さん〉

編集・発行に大きな負担をかけているので、その改善について話し合っても良いのではないか。

〈K.K さん〉

平和と人権に関する様々な人が登場する、または記事を分担できるようになればいいと思います。

Q4　「市民ネットワーク」の活動全般について、要望・意見

ｉ)活動を評価する意見がたくさん寄せられた。

〈K.K さん〉

学童保育や障がい者福祉の現場を知る機会を作られたことは市民ネットならではと言えますし、コロナで改めて浮き彫りにされた新自由主義=自己責任社会からの転換を今こそ果たすためには「平和と人権」を看板に掲げた市民ネットワークの出番ともいえると思います。

〈N.K さん〉

各地域での憲法ミニ学習会や沖縄との連帯など、伊東の皆さんの活動にいつも刺激を受けてきました。地域の中で地道な活動を続けること、とても大切だと思います。

ⅱ)他方で、活動の間口を広げることを危惧する声も。

〈T.M さん〉

組織の力量に比べて間口を広げると、一般大衆を組織することがよりむつかしくなると思う。運動の内容を「平和を守ること」「9 条を守ること」のみに専念した方が良いと思う。

〈K.F さんー重点を絞った活動を〉

緊急性のある事態のときは、学習会や集会をやる必要があると思いますが、そうでない時は毎月会合を持たなくても良いのではないかと思います。

ⅲ)運動を広げるために

〈A.T さん〉

特定の政党に属さないとのことで参加。伊東市民の参加が増えるにはどうしたらよいか。

〈K.S さん〉

参加者の顔ぶれが狭まってきていると思います。

〈T さん夫妻〉

若い人の中にひろがって欲しいですね。そのための活動方法をみんなで考えたいですね。

ⅵ)組織の一本化を

〈F.N さん〉

「情報発信、交流の場」&「9 条改憲 NO！」は主旨からして双方、理解・協調・支え合いで発展させていくもので、組織が二つあることに理解が追い付けませんでした。単純に考えれば学び、行動することは一体なのだからです。

〈I.I さん〉

市民アクションと合流(一本化)して発展させていってほしいと思います。

Q5　自由記述

たくさんの人が思いを書いてくれた。身辺のこと、コロナの今、政治のこれから、等々。個々の記述を紹介するスペースがないので、あえて、最大公約数的に皆さんの声を集約すると…

〔平和憲法の原点を揺るがず、人権問題を多角的に取り上げ、
若い人も含めた連帯の輪を広げ、政治を変える展望をもつこと〕

といったところでしょうか。

※ 事務局ではこれらの意見を踏まえて、今後の方針を決めていきます。また、自由記述欄の記述をご本人了解の上、次号以下で紹介させていただきます。

お知らせ

☆第三回学習懇談会…11 月 14 日(土) 10:00~11:45、「ひぐらし会館」第 1 会議室(℡　38-1511)。安部川てつ子さんに「保養ステイの 8 年」と題して福島の子どもたちとの関わりを語っていただきます。詳しくは別紙(添付)の案内チラシをご覧ください。

◆**「改憲発議に反対する全国緊急署名」**用紙の改訂版が出ました。タイトルの「安倍 9 条改憲 NO!」を「9 条改憲 NO!」に変えるなど、若干の変更があります。ただし、請願事項は変わらないので、従来の用紙を引き続いて使用しても構わないそうです。